

第1回委員会で議案を審議、承認

結成55周年事業概要を検討

【ユースフォーラム2016】7月の呼びかけも
新日本宗教学会連盟(思親会、伊藤徳亮副委員長、岩淵明大委員長、岩淵明大委員長、岩淵明大委員長)の再成会、新に副委員長(立正佼成会)を新たに副委員長に推薦する(第29期役員体制案を提案し、これを承認)。
松山教区で平成28年度第1回(拡大)委員会を開催し、16日は午後3時に開会。岩淵明大委員長(松嶺神道大和山)、内島康親副委員長(松嶺神道大和山)の出席で、ユースフォーラム2016「受け入れの新しい宗教学青年会中」部連盟(青年連)の委員らが説明を行い、参加の呼びかけを行った。また、来年度の受け入れ連盟を新日本宗教学青年会北関東連盟(青年連)とすることを承認した。
7月に開催する「ユースフォーラム2016」受け入れの新しい宗教学青年会中(青年連)の委員らが説明を行い、参加の呼びかけを行った。また、来年度の受け入れ連盟を新日本宗教学青年会北関東連盟(青年連)とすることを承認した。



天真大真義文を唱え練り歩く

天真教

天真教(神出修二教主)は3月20日、三重県伊賀市の本部で「第45回世界助けの聖観音像春季大祭」を執り行った。聖観音像は「神名・大納言之宮千願不動慈悲菩薩千手観音大権現像」として1972(昭和47)年3月に故神出房江教祖が祀ったもので、春秋彼岸の中日に開扉し大祭を行っている。
午前10時、平安城神前で齋主の神出修二教主が前祭を執り行い、三社殿に拝礼し、天真武之命に守り刀を授けた。続いて、参列者は天真武之命にしがらみ神輿に「天真主之命」を遷座した。この後、紅白の花傘、福寿旗、剣持ち、槍持ち、七福神、齋主、神輿、轎を持ち、信徒らが平安城前を出発し、大鼓に合わせ天真大真義文「無一空一我無也」と唱えながら、「花園のお地場」まで練り歩いた。天真院大奉燈拜殿で本祭を開き、聖観音像への拝礼に続き、齋主の神出修二教主による祝詞、祝詞奏上、神出齋光教主夫人による「おおかぐら舞」の奉納の後、参列者を代表して曾我尚己信徒会長が玉串を奉奠した。神出教主の拍子木に合わせて、全員で「無一空一我無也」を奉唱する中、毘沙門天の手により聖観音像を祀る社殿の扉が開かれた。この後、参列者が世界平和と七色の風船を春の空に向け、はすですくようにして拝

各地で春の大祭

立教100年に向け、一致協力

円心教

円心教(深田充啓教主)は4月2、3の両日、兵庫県丹波市の本部聖地内の本殿礼拝所で「春季大祭」を執り行った。
両日も午後零時半から開式。3日の式典は、深田充啓教主の入場の後、9人の女性が献花・献饌・献茶の「献上の儀」で真殿を荘厳し、深田恵子教主を主導師におつとめを行った。続いて、平成27年度の教勢努力によって教団への貢献が著しい教会に対して表彰が行われ、深田教主、深



深田教主は「御親教」に立ち、朝目覚めて外を眺めると「桜が特にきれいだったので、参列してくださった方に持って帰っていただきたい」と思い、当日朝に

14式典」については、第50回と同様の規模でのテントやモニター設置のために必要な経費を、結成55周年事業の積立金から充当することを提案し、これを承認。第52回以後の経費確保の方途については継続的に審議していただくことを確認した。

どうテーマでディスカッションを行った。参加者からは「役割を演じるのが新鮮だった」「議論を通して気持ちよくなった」などの感想が聞かれた。午後2時半、救世教で参拝した後、救世教の新井光興会長から講話を受けた。その後、救世教の役員らによる「救世教の歴史と現状」の報告が行われ、新井会長は「救世教の歴史と現状」の報告を受けた。その後、救世教の役員らによる「救世教の歴史と現状」の報告が行われ、新井会長は「救世教の歴史と現状」の報告を受けた。

「花園のお地場」まで、齋主の神出修二教主に「天真主之命」を遷座した。この後、紅白の花傘、福寿旗、剣持ち、槍持ち、七福神、齋主、神輿、轎を持ち、信徒らが平安城前を出発し、大鼓に合わせ天真大真義文「無一空一我無也」と唱えながら、「花園のお地場」まで練り歩いた。天真院大奉燈拜殿で本祭を開き、聖観音像への拝礼に続き、齋主の神出修二教主による祝詞、祝詞奏上、神出齋光教主夫人による「おおかぐら舞」の奉納の後、参列者を代表して曾我尚己信徒会長が玉串を奉奠した。神出教主の拍子木に合わせて、全員で「無一空一我無也」を奉唱する中、毘沙門天の手により聖観音像を祀る社殿の扉が開かれた。この後、参列者が世界平和と七色の風船を春の空に向け、はすですくようにして拝

「生まれかわろうよ」と書かれた卵を受け取った。最後に「御真言」を全員で奉唱し、神水とご洗米、練り歩くと信じて

「生まれかわろうよ」と書かれた卵を受け取った。最後に「御真言」を全員で奉唱し、神水とご洗米、練り歩くと信じて

「生まれかわろうよ」と書かれた卵を受け取った。最後に「御真言」を全員で奉唱し、神水とご洗米、練り歩くと信じて

「生まれかわろうよ」と書かれた卵を受け取った。最後に「御真言」を全員で奉唱し、神水とご洗米、練り歩くと信じて

「生まれかわろうよ」と書かれた卵を受け取った。最後に「御真言」を全員で奉唱し、神水とご洗米、練り歩くと信じて

「花園のお地場」まで、齋主の神出修二教主に「天真主之命」を遷座した。この後、紅白の花傘、福寿旗、剣持ち、槍持ち、七福神、齋主、神輿、轎を持ち、信徒らが平安城前を出発し、大鼓に合わせ天真大真義文「無一空一我無也」と唱えながら、「花園のお地場」まで練り歩いた。天真院大奉燈拜殿で本祭を開き、聖観音像への拝礼に続き、齋主の神出修二教主による祝詞、祝詞奏上、神出齋光教主夫人による「おおかぐら舞」の奉納の後、参列者を代表して曾我尚己信徒会長が玉串を奉奠した。神出教主の拍子木に合わせて、全員で「無一空一我無也」を奉唱する中、毘沙門天の手により聖観音像を祀る社殿の扉が開かれた。この後、参列者が世界平和と七色の風船を春の空に向け、はすですくようにして拝

「生まれかわろうよ」と書かれた卵を受け取った。最後に「御真言」を全員で奉唱し、神水とご洗米、練り歩くと信じて

「生まれかわろうよ」と書かれた卵を受け取った。最後に「御真言」を全員で奉唱し、神水とご洗米、練り歩くと信じて

「生まれかわろうよ」と書かれた卵を受け取った。最後に「御真言」を全員で奉唱し、神水とご洗米、練り歩くと信じて

「生まれかわろうよ」と書かれた卵を受け取った。最後に「御真言」を全員で奉唱し、神水とご洗米、練り歩くと信じて

「生まれかわろうよ」と書かれた卵を受け取った。最後に「御真言」を全員で奉唱し、神水とご洗米、練り歩くと信じて

「生まれかわろうよ」と書かれた卵を受け取った。最後に「御真言」を全員で奉唱し、神水とご洗米、練り歩くと信じて

「生まれかわろうよ」と書かれた卵を受け取った。最後に「御真言」を全員で奉唱し、神水とご洗米、練り歩くと信じて

教祖がそれを見抜いた上で、短刀を持っていては危ないからと教祖が短刀を預かったところ、帰りがけに周辺で強盗騒ぎが起こり、職務質問があったが、そのおかげで、犯人扱いされずにすんだとのエピソードを話した。

「生まれかわろうよ」と書かれた卵を受け取った。最後に「御真言」を全員で奉唱し、神水とご洗米、練り歩くと信じて

「生まれかわろうよ」と書かれた卵を受け取った。最後に「御真言」を全員で奉唱し、神水とご洗米、練り歩くと信じて

「生まれかわろうよ」と書かれた卵を受け取った。最後に「御真言」を全員で奉唱し、神水とご洗米、練り歩くと信じて

「生まれかわろうよ」と書かれた卵を受け取った。最後に「御真言」を全員で奉唱し、神水とご洗米、練り歩くと信じて

「生まれかわろうよ」と書かれた卵を受け取った。最後に「御真言」を全員で奉唱し、神水とご洗米、練り歩くと信じて

「生まれかわろうよ」と書かれた卵を受け取った。最後に「御真言」を全員で奉唱し、神水とご洗米、練り歩くと信じて

「生まれかわろうよ」と書かれた卵を受け取った。最後に「御真言」を全員で奉唱し、神水とご洗米、練り歩くと信じて

3 総支部で会長 選出
首都圏
異動に伴い退任した正井啓介前会長(前PL東京中央教区)の後任に、島田華代氏(立正佼成会東京教区長・南多摩教区)を新会長に選出した。

中国
中国総支部は4月14日午後、広島市の立正佼成会広島教区で総務会を開催した。教団内人事異動に伴い退任した鈴木孝太郎前会長(立正佼成会前中国支教区長・広島教区)の後任に齋藤高市氏(立正佼成会中国支教区長・広島教区)を新会長に選出した。

北関東
北関東総支部は4月18日午後、長野県松本市で総務会を開催した。任期満了により退任する浦島真前会長(解脫会相談役)の後任として、新井光興氏(救世教)を新会長に、松本宏志氏(PL新潟教区)と小林正二氏(解脫会常任理事)を副会長に選出した。新井会長は就任挨拶で「私は今年10月54歳となりますが、北関東総支部(1

新宗連 協議会
和歌山県協同会(上田真と説明した。少子高齢化、経済状況により、和歌山県でも20年後には、人口が30%減少し、地域の行事なども行われなくなってしまう所が出てくることを強調した。また「宗教の社会貢献と言った難しい感じが、皆さんが学んだことを人に伝えること、毎年実施している和歌山山の清掃奉仕を継続し、身近な人に伝え、誘うことが大切」と宗教協力の実践で地域共同体の再構築を訴えた。

新宗連 協議会
和歌山県協同会(上田真と説明した。少子高齢化、経済状況により、和歌山県でも20年後には、人口が30%減少し、地域の行事なども行われなくなってしまう所が出てくることを強調した。また「宗教の社会貢献と言った難しい感じが、皆さんが学んだことを人に伝えること、毎年実施している和歌山山の清掃奉仕を継続し、身近な人に伝え、誘うことが大切」と宗教協力の実践で地域共同体の再構築を訴えた。

「生まれかわろうよ」と書かれた卵を受け取った。最後に「御真言」を全員で奉唱し、神水とご洗米、練り歩くと信じて

「生まれかわろうよ」と書かれた卵を受け取った。最後に「御真言」を全員で奉唱し、神水とご洗米、練り歩くと信じて

「生まれかわろうよ」と書かれた卵を受け取った。最後に「御真言」を全員で奉唱し、神水とご洗米、練り歩くと信じて

「生まれかわろうよ」と書かれた卵を受け取った。最後に「御真言」を全員で奉唱し、神水とご洗米、練り歩くと信じて

「生まれかわろうよ」と書かれた卵を受け取った。最後に「御真言」を全員で奉唱し、神水とご洗米、練り歩くと信じて

「生まれかわろうよ」と書かれた卵を受け取った。最後に「御真言」を全員で奉唱し、神水とご洗米、練り歩くと信じて

「生まれかわろうよ」と書かれた卵を受け取った。最後に「御真言」を全員で奉唱し、神水とご洗米、練り歩くと信じて

徳を積み、素直な気持ちで
八津御嶽神社
八津御嶽神社(山本行徳宮司)は4月17日午後2時から、東京都中野区の本部で「春季大祭」を開催した。参拝者全員で「中臣の天」を奉唱した後、雅楽が奏でられ、祭主の山本行徳宮司と齋主が昇壇し、着座した。「御教誨」などを行

「生まれかわろうよ」と書かれた卵を受け取った。最後に「御真言」を全員で奉唱し、神水とご洗米、練り歩くと信じて

「生まれかわろうよ」と書かれた卵を受け取った。最後に「御真言」を全員で奉唱し、神水とご洗米、練り歩くと信じて

「生まれかわろうよ」と書かれた卵を受け取った。最後に「御真言」を全員で奉唱し、神水とご洗米、練り歩くと信じて

「生まれかわろうよ」と書かれた卵を受け取った。最後に「御真言」を全員で奉唱し、神水とご洗米、練り歩くと信じて

日宗連 創立70周年記念式典を開催

将来へ向け課題の克服を

来年2月に宗教の役割を考えるシンポジウム

日本宗教連盟(日宗連、齋藤明聖理事長)は4月14日午前10時から、東京都中央区築地本願寺で「創立70周年記念式典」を開催した。

日宗連は1946(昭和21)年6月2日、教派神道連合会、全日本仏教会、日本キリスト教連合会、神社本庁により結成され、52年4月2日、新日本宗教団体連合会(新宗連)が加盟し、5団体となり、現在に至っている。



創立70周年を迎え、日宗連の顧問や来賓が参列する中、齋藤理事長が事業の展開を語る

北久日本基督教団元総会議長、岡野聖法解脱会法主の3人の顧問(元理事長)に感謝状が贈られた。日宗連の創立60周年記念式典の思い出を語り、「今後も世のため人のために尽くすべく精進していきたい」と述べた。

他者との共生、対話が重要

ミャンマーの宗教指導者を迎え公開シンポジウム

WCRP/RFP日本委員会(齋野日鏡会長、杉谷義純理事長)は4月6日午後2時から東京・代々木の妙智會館本部で「ミャンマーの宗教指導者10人を迎えての公開シンポジウム」を開催。テーマは「We are All Other(他者とも)に生きる喜び」に向けた実践と課題で、宗教者、学者、市民ら約200人が参加した。

ミャンマーには同国の4宗教(仏教、キリスト教、イスラム、ヒンドゥー教)を代表する宗教指導者による「2012年9月にWCRP/RFPミャンマー委員会が設立され、諸宗教協力を通じた民族融和、子

低年齢推計や、1990(平成2)年成り、年々最も低かった先進国で若者の自殺率が、2010(平成22)年まで最も多かったことなどを説明。「子どもたちを取り巻く環境は、どんどん苛酷になっていく。未来を担う若者が、虐待や育児放棄を受けた特異な生育過程を経験している」と訴え、社会から排除される貧困層の若者が、大量発生している現状に警鐘を鳴らした。

若者の貧困 苛酷な実態が

現場からの声を集め公開シンポジウム

「若者の貧困問題」を扱った経済連携協定(環太平洋経済連携協定)の現場からの声をテーマに3月19日午後1時から、東京・杉並の佼成図書館視聴覚ホールで公開シンポジウムが開かれた。

主催は庭野平和財団(庭野浩士理事長)。共催は、同財団が助成している時事問題市民学習会。近年、グローバル経済競争やIT化の影響で雇用の流動化、不安定化が進み、またTPP(環太平洋戦略

「自立支援ルーム」や「学習支援教室」など、生きづらさを感じ、社会に居場所が見つけられない子どもや若者が無償で支援する活動の概要を紹介した。これを踏まえて、2013(平成25)年、広島県呉市で起こったLINE少女殺人事件、パネルディスカッションで若者の労働環境の悪化などを共有

「依然として軍のエリートが経済を握っており、国民の大半が貧しいことから貧困問題の早急な解決が必要」と述べた。また、並行して民族の分断を解消するために、宗教の役割を明らかにしていくの必要性を述べた。

「行動と言葉」が大事であり、「神さまに好かれる生き方」を、筆者の経験と信仰から、平易な言葉遣いで

このため鑑として利用することもでき、例えば、2007年版(2006年のデータを収録)をみると、教育基本法改正、細木数子、映画「タタ・ウィンチ」コレ

「現代布教 キーワード」をまとめた。著者は、産経新聞文化部記者を経て編集委員を務めたジャーナリスト。本書のタイトルから、僧侶向け、自叙、災害、生命・科学、医療、経済、世界情勢など、読みやすいように14分野に

政治に関心をもち、まずは身近な話題から

18歳からの選挙を学ぶ会 講座

今年7月の参議院選挙から「18歳選挙権」が適用されることになり、政府や各政党は広報活動を展開しているが、市民レベルでも若者に選挙参加を呼びかける活動が始まっている。

「安全確保」ってなんだ？」をテーマに問題提起を行った。布施氏は安全保障と集団的安全保障の意味から、国際連帯規約(1991年)やパリ不拡条約(1988年)、国際連帯憲章(1945年)を引き、「戦争違法化の流れ」を解説。国連憲章下では「武力の行使は、国連加盟の大国による軍事的、経済的思惑によって行われてきた」と指摘した。

著者の山本行徳氏は、御嶽神社(東京都中野区、新日本宗教団体連合会加盟)の宮司で、年10回の祭典行事はもちろんで、毎月9日には寄席を開くなど、地域社会に開かれた神社づくりの努力が続いている。その山本氏が「ひとりでも多くの人に、神さまの本当の姿を知って欲しい」という願いから執筆したのが本書である。

「行動と言葉」が大事であり、「神さまに好かれる生き方」を、筆者の経験と信仰から、平易な言葉遣いで

「現代布教 キーワード」をまとめた。著者は、産経新聞文化部記者を経て編集委員を務めたジャーナリスト。本書のタイトルから、僧侶向け、自叙、災害、生命・科学、医療、経済、世界情勢など、読みやすいように14分野に

新刊紹介

宗教社会学を学ぶ人のために

編者によれば宗教社会学は、社会という場における宗教を研究する学問である。宗教は社会から影響を受け、同時に社会に影響を与えてきた。

「行動と言葉」が大事であり、「神さまに好かれる生き方」を、筆者の経験と信仰から、平易な言葉遣いで

「現代布教 キーワード」をまとめた。著者は、産経新聞文化部記者を経て編集委員を務めたジャーナリスト。本書のタイトルから、僧侶向け、自叙、災害、生命・科学、医療、経済、世界情勢など、読みやすいように14分野に

「現代布教 キーワード」をまとめた。著者は、産経新聞文化部記者を経て編集委員を務めたジャーナリスト。本書のタイトルから、僧侶向け、自叙、災害、生命・科学、医療、経済、世界情勢など、読みやすいように14分野に

共生社会の実現へ

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」にどきどき宗教団体連帯会議(「同宗連」、角本尚雄議長)は4月7日午後1時から、東京都港区の真言宗智山派別院・真福寺で第36回総会を開催した。

「行動と言葉」が大事であり、「神さまに好かれる生き方」を、筆者の経験と信仰から、平易な言葉遣いで

「現代布教 キーワード」をまとめた。著者は、産経新聞文化部記者を経て編集委員を務めたジャーナリスト。本書のタイトルから、僧侶向け、自叙、災害、生命・科学、医療、経済、世界情勢など、読みやすいように14分野に

障害者差別解消法 施行

「同宗連」総会・学習会

それぞれ可決した。午後3時からは、「障害者差別解消法の施行に向けて」差別の取り扱いは禁止と述べ、店や博物館に来た障害者に対し「合理的配慮」を求め、実践する必要があることを説明した。

「現代布教 キーワード」をまとめた。著者は、産経新聞文化部記者を経て編集委員を務めたジャーナリスト。本書のタイトルから、僧侶向け、自叙、災害、生命・科学、医療、経済、世界情勢など、読みやすいように14分野に